



「おれんじサロン ひと・まち」 ～若年性認知症・初期認知症の方の本人交流会～ を毎月開催しています！

若年性認知症や初期認知症の人が楽しく集いながら、相談をしたり、支援やケアの情報を得ることができる「おれんじサロン ひと・まち」を毎月開催しています。

7月に開催したサロンでは、「認知症の人の介護家族交流会」のみなさんと一緒にヨガで体をほぐし、その後、サロン参加者、認知症あんしんアドバンスサポーター等のボランティア、スタッフとで茶話会を行いました。

参加者同士で仕事や趣味、家族の話を交わしたり、日常生活での不安を相談したりして、和やかな交流会となりました。



今後も、このような安心して楽しく集える場所づくりを進めていきます。

日時 毎月第3水曜日 14:00～15:30

※1週間前までにお申込みください。

●問い合わせ先 京都市長寿すこやかセンター
☎354-8741



日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業) 生活支援員(臨時職員)を募集します

判断能力が十分でない方にとって、福祉サービスの情報を自分で集めたり、自分に合った福祉サービスを選択したりすることは容易なことではありません。また、生活に必要なお金の管理に困ったり、大切な通帳や印鑑の保管場所を忘れてしまうこともあります。

日常生活自立支援事業は、高齢の方や知的・精神に障害のある方などで、判断能力が十分でない方に対して、福祉サービスの利用や日

常的な金銭管理についてお手伝いを行う事業です。

生活支援員はこの事業の担い手として、利用者の地域生活を支援する活動を行います。

現在、市社協では生活支援員を市内全域において募集しています。関心をお持ちの方は、どうぞお気軽に下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先 生活支援部 ☎354-8734



問い合わせは

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

平成25年度版 10月発行

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL.(075)354-8731(代表) FAX.(075)354-8736

http://www.syakyo-kyoto.net/ E-mail: sisyakyo@hitomachi-kyoto.jp

協会の活動を映像でご覧いただけます

京都市社協

検索

この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。



京都市の

社会福祉協議会

「社会的孤立」と「生活困窮」に対する生活支援の取組を進めます！	P1
区社協の活動計画 各学区社協の取組	P2-3
市社協通信 おれんじサロン ひと・まち 日常生活自立支援事業生活支援員募集	P4

「社会的孤立」と「生活困窮」に対する 生活支援の取組を進めます！

近年、孤立死や引きこもりなどの「社会的孤立」や、厳しい経済情勢の中で、「生活困窮」の問題が深刻化しています。

市社協においても、地域や関係機関・団体、施設等との連携を強化して、生活支援の取組を進めています。

重層的な見守り活動の推進に向けて企業3社と協定を締結

— 高齢者等見守り活動企業連携事業を11月から新たに実施 —

市社協では、孤立防止のための重層的な見守り活動の推進に向けて、宅配を行う企業と「高齢者等の見守り活動に関する協定」を結びました。これは、日常の宅配業務の中で利用者の異変があった場合に、区社協の協力のもと、必要な対応を行うものです。

市社協ではこれまでから、京都市の「地域における見守り活動促進事業」への協力を通じて、学区社協が取り組む高齢者等の見守り活動の充実を進めています。両事業を通じて見守り活動を重層的に展開していきます。

協定締結企業

- 京滋ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 京都生活協同組合

異変 の例

- ・新聞やゴミが溜まっている。
- ・会話がかみ合わない。
- ・大量に同じものを買っている。等



「チャレンジ就労体験事業」 を開始

近年、全国的に生活保護を受給する世帯が増えています。市社協では、生活保護受給者の方の就労による自立や社会生活の自立を支援する「チャレンジ就労体験事業」を、7月に京都市から受託しました。

市社協が運営する福祉施設などで、生活保護受給者の方が掃除や食事の配膳などの体験を通して働くことへの喜びや自信を深めていただくものです。

今後は社協のネットワークを活かして、関係団体や企業などに協力いただき、体験先を広げていきます。



若年性認知症の方 への支援

認知症に対する理解や制度は徐々に進んできましたが、若くして認知症を発症された方（若年性認知症）は、心理的、経済的な問題があります。また、高齢者を対象とした介護サービスは若年性認知症の方には合わなかったり、周囲からの理解が得られにくいと、家で過ごすなど孤立しがちです。そのため、若年性認知症の方が安心して楽しく集える場所を地域に作っていくことは重要です。

市社協では、7月から若年性認知症の方のための「おれんじサロン ひと・まち」を毎月開催しています。（詳細4ページ）

